

令和 3 年 度

百石第4分団旧拠点施設解体工事

設 計 図

図面番号	図面タイトル
A-01	特 記 仕 様 書
A-02	建物概要・付近見取り図
A-03	解体建物配置図・仮設計画図
A-04	撤 去 建 物 仕 上 表
A-05	解 体 建 物 平 面 図
A-06	解 体 建 物 立 面 図
A-07	解 体 建 物 断 面 図
A-08	解 体 建 物 天 井 伏 図
A-09	建 具 表 キ ー プ ラ ン
A-10	建 具 表 (1)
A-11	建 具 表 (2)・家 具 図
A-12	解体建物基礎伏図・土台伏図
A-13	解体建物2階床梁伏図・小屋梁伏図
A-14	解体ホース乾燥ポール（参考図）

おいらせ町まちづくり防災課

青森県県土整備部建築住宅課 建築物解体工事特記仕様書		特記事項		特記事項		特記事項	
I 工事概要		① 一般共通事項	② 提出書類	③ アスベスト含有建材の除去等	④ その他特記事項		
1 工事場所	上北郡おいらせ町 新助川原 地内	① 一般共通事項	提出書類は下記を標準とする。	1 アスベスト含有する建築設備	④ その他特記事項	ボイラー保温材 ・ 配管エルボ保温材 ・ 耐火二層管 (6.1.1)	
2 敷地面積	1,654.51 m <sup>2</sup>		提出書類	2 専門工事業者		アスベスト含有建材の除去を直接行う専門工事業者については、工事に相応した技術者を有することを証明する資料を監督職員に提出すること。 (6.2.1)	
3 解体建築物の概要			CORINS 工事カルテ受領書(適用する場合のみ)	3 作業主任者		石綿作業者技能講習修了者又は平成18年3月以降の特定化学物質等作業主任者の資格者とする。 (6.2.2)	
解体名	百石第4分団拠点施設		施工体制台帳・施工体系図	4 除去作業者		石綿調査子前規則に基づき特別の教育を受けた者で、肺機能に異常がない者とする。 (6.2.3)	
用途	消防団屯所		実施工程表	⑤ アスベスト含有分析調査		行方不明 ・ 行わない ※ 別途協議(図面にない建材が判明した場合) (6.1.3)	
構造	木造 2階建		施工計画書	6 アスベスト触じん濃度測定		測定は種類に応じ、下段のとおりとする。 (6.1.4)	
建築面積	49.686 m <sup>2</sup>		再生資源利用計画書・廃棄物処理計画書(CREDAS入システム)				
延床面積	99.372 m <sup>2</sup>		現場代理人等通知書				
1階	49.686 m <sup>2</sup>		建設副産物対策責任者				
2階	49.686 m <sup>2</sup>		特別管理産業廃棄物管理責任者				
計	99.372 m <sup>2</sup>	電気保安技術者					
4 施工条件	(1.3.5)	工事用電力設備保安責任者					
II 建築工事仕様		完成写真(施工前を左、施工後を右に入れる。)					
1 質問回答書、現場説明書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁官制監修「建築物解体工事共通仕様書」(以下「共通」という。)。(平成31年版)による。		工事写真(養生材の撤去状況を含む)					
2 特記事項		施工計画書(承諾を受けたものをまとめたもの)					
1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。		打ち合わせ簿					
2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と◎印が付いている場合は、共に適用する。		施工記録					
3) 特記事項に記載の( )内表示番号は、共通の当該項目、当該図又は当該表を示す。		再生資源利用実施書・廃棄物処理計画書(CREDAS入システム)					
① 適用基準等	※ 建築工事における建設副産物管理マニュアル・再解説 (平成18年版) ※ 建設副産物適正処理推進要綱 ※ 工事写真の撮り方 (改訂第二版) ※ 青森県官制事業に係る電子納品運用ガイドライン (平成21年 4月)	マニフェストA欄とE欄の写し(完成時にE欄が提出出来ない場合はD欄とし、それからE欄を提出すること)					
② 工事実績情報の登録	その他、労働安全衛生法等の解体工事関連法規を遵守すること。 罰金額が500万円以上の場合に適用する。 (1.1.4)	発生引渡し調書					
③ 電気保安技術者	※ 電気主任技術者 ※ 監督職員の承認を受けた者 (1.3.3)	設置箇所位置報告書 (切断した設備の種類・位置を記録したもの)					
④ 解体工事施工技士	1. 解体工事を適切に施工管理するため、解体工事施工技士1名以上が現場に常駐すること。 2. 「解体工事施工技士資格証」を現場で確認する場合があるため、常に携帯しておくこと。 施工に使用する建設機械は、低騒音型・低振動型及び排出ガス対策型建設機械とすること。 (1.3.9)	熱置換報告書 (熱置換の種類、経路、位置及び取組内容等を記録したもの)					
⑤ 環境保全等		アスベスト触じん濃度測定報告書(とりまとめのもの)					
⑥ 発生材の処理		地盤物報告書(文化財その他)					
		その他監督職員が指示した書類					
⑦ 施工調査							
8 廃棄物処理施設							
⑨ 技術検査							
⑩ 工事の下請負	1. 請負者は、下請負に付する場合には、次の各号に掲げる要件を満たさなければならない。 1) 請負者が工事の施工につき総合的に企画、指導及び調整するものであること。 2) 下請負者が青森県の工事指名競争参加資格者である場合には、指名停止期間中ではないこと。 3) 下請負者が当該下請負工事の施工能力を有すること。 2. 請負者は、工事を下請負に付する場合には、可能な限り地元建設業者を使用することとする。 3. 施工体制台帳及び施工体系図を監督職員に提出する。なお、本工事において下請金額の合計が100万円以上の場合又は低入札価格決定制度により契約されたものは、下請負業者と契約締結後全ての下請契約を2週間以内に監督職員に1部提出する。また、施工体制台帳及び施工体系図は工事現場に備えるものとし、現場指示も併せて行うものとする。 1) 工事の一時的中止に係る計画の作成 契約書第20条の規定により工事の一時的中止を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画「基本計画書」を発注者に提出し、承認を受けるものとする。 なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労働者数、搬入材料及び建設機械器具等の確保に関すること、中止に伴う工事現場の体制の最小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。 2) 工事の施工を一時的中止の場合は、工事の執行に備え工事現場を保全すること。	⑪ 産業廃棄物取扱運搬車に係る表示及び搬入れ					
11 工事の一時的中止		⑫ 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)					
		⑬ 青森県産業廃棄物取扱					
		16 伐木・被覆材の有効利用					
		⑭ 仮設工事					
		⑮ 解体施工					
		⑯ 防音パネル ・ 防音シート ・ メッシュ金網、養生シート ・ なし (設置範囲 ※ 図示)					
		2 監督職員事務所					
		設計者の仕上げ及び値目は下表を標準とする。					
		部 位 格 仕 上 げ					
		床 合板張り又はビニル床シート張り					
		内壁 ・ 天井 合板又はセッコボード張り、合成樹脂エマルジョンペイント塗り					
		屋根 透気防水膜貼付めっき鋼板張り、又は鉄板張りのうえ鋼合ペイント塗り					
		備 品 保護棚、ゴミ袋、雨ガッパ、蓑、いす、黒靴、懐中電灯、消火器、電話、音響機、衣類ロッカー、時計袋、温度計、冷暖房機器、通風装置					
		構内既存の施設 ・ 利用できる(※ 有償 ・ 無償) ※ 利用できない					
		⑰ 置く(5B) ・ 置かない					
		足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について【厚生労働省 基発第0424001号平成21年 4月24日】の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に資する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立てに関する基準」の2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり専用足場方式により行うこと。					
		1 試の解体					
		2 樹木等の伐採伐根及び移植					
		⑱ 地下埋設物及び埋設配管等の解体					
		解体後の復元及び盛土					

## 敷地・建物概要

敷地の地名地番 : 上北郡おいらせ町新助川原46-2

工 事 件 名 : 百石第4分団旧拠点施設解体工事

主 要 用 途 : 消防団屯所

工 事 種 別 : 解体工事

地域・地区等 : 都市計画区域

指定建ぺい率 : 70 %

指 定 容 積 率 : 200 %

防 火 地 域 : 指定なし

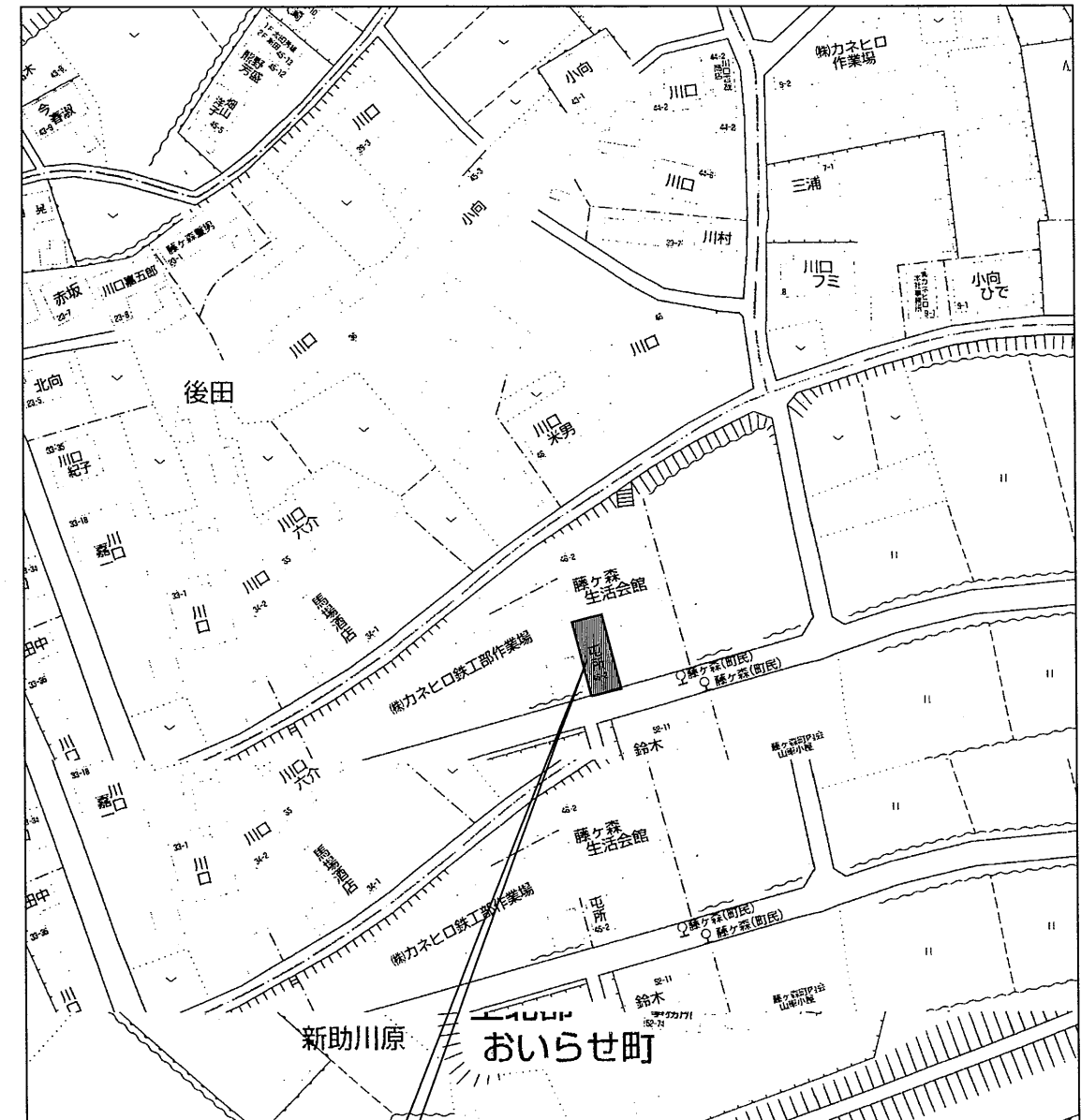
前 面 道 路 : 南 側: 幅員 10.00 m 東 側: 幅員 m  
接道長さ: --- m 接道長さ: --- m

建築物の概要 :

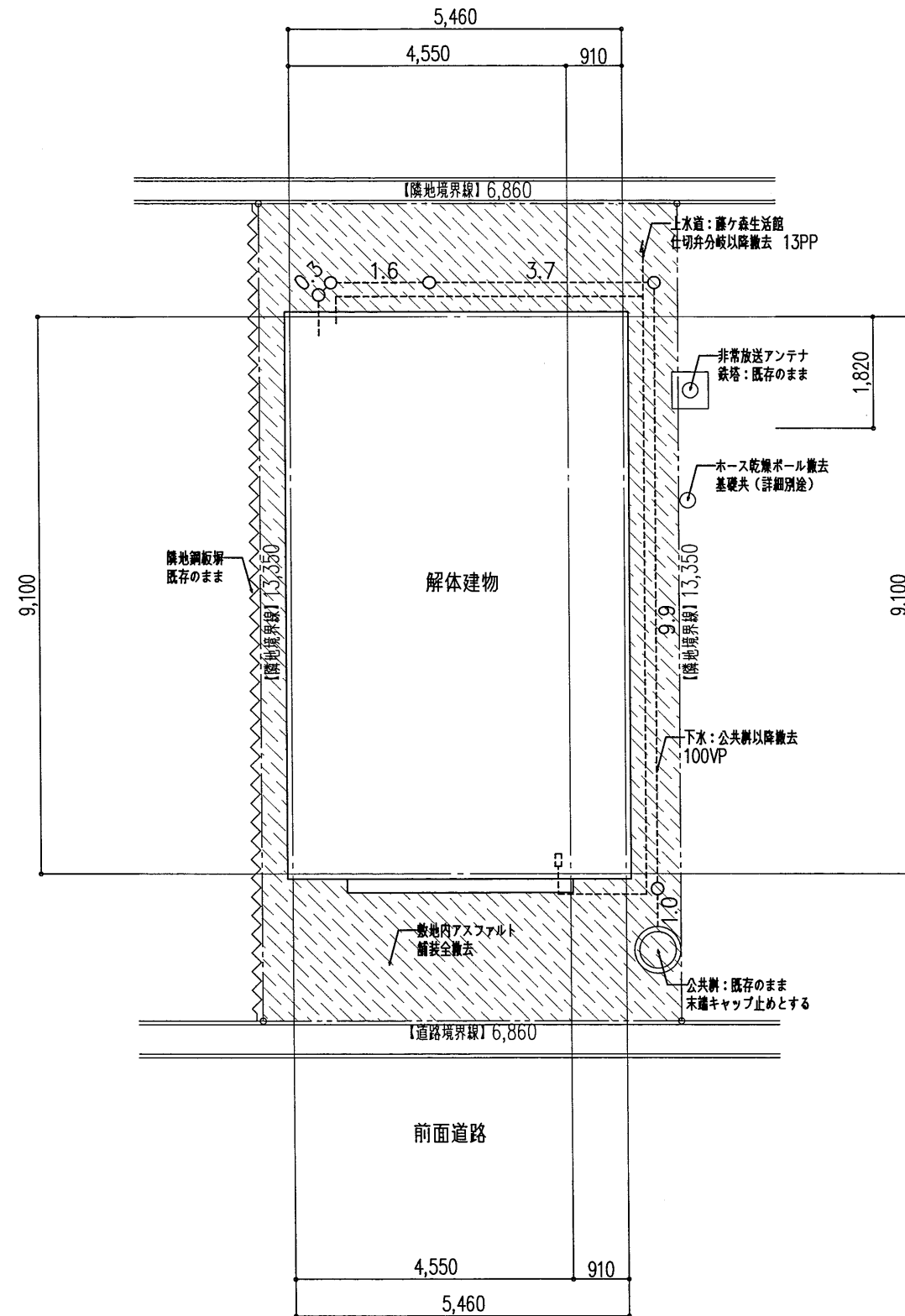
建物名称	建物-1		
構 造	木 造		
階 数	2		
建物面積	49.686 m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>
延床面積	99.372 m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>
建物高さ	6.70 m	m	m
軒の高さ	6.05 m	m	m



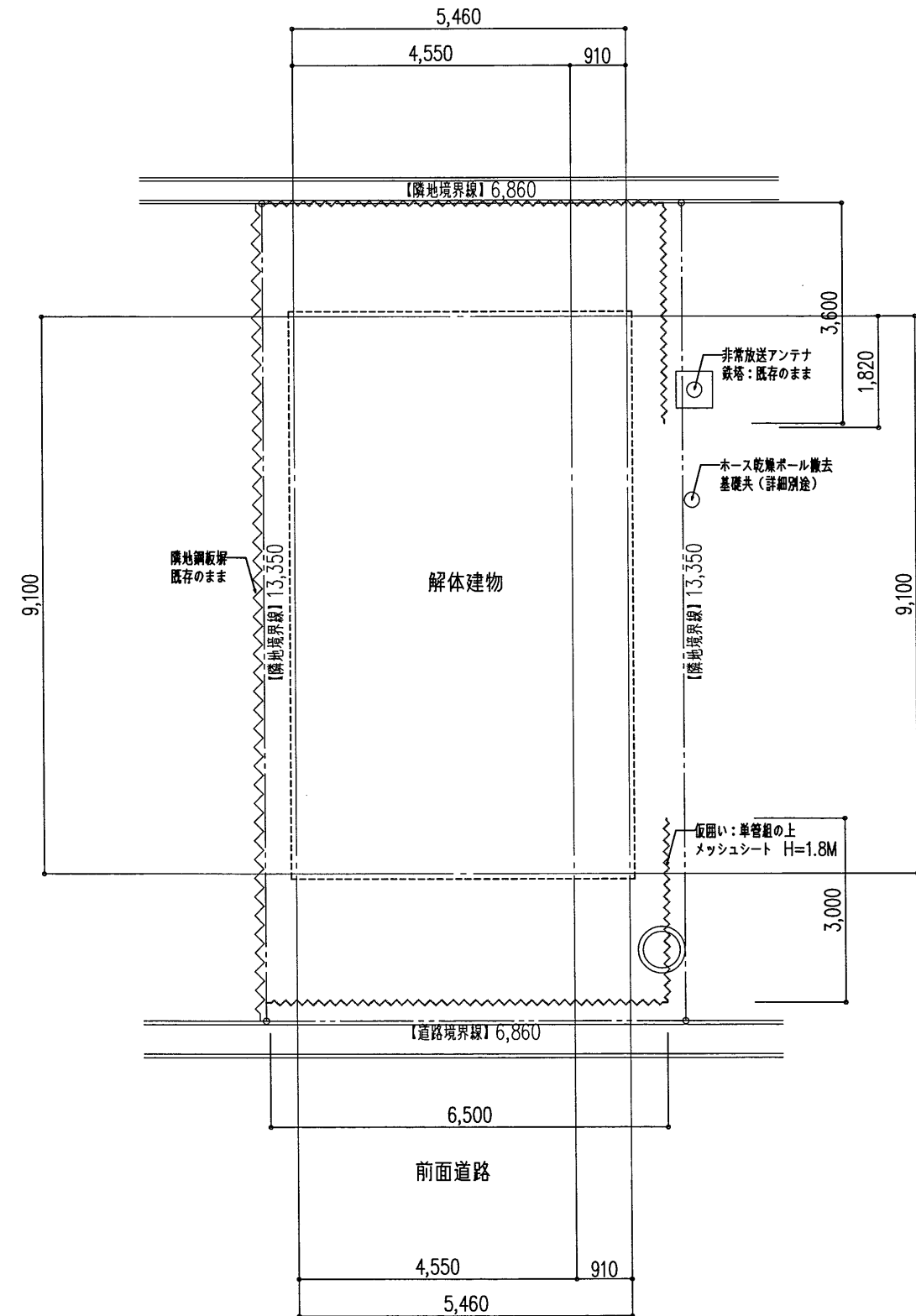
付近見取り図



計画地：青森県上北郡おいらせ町新助川原46-2



配置図 S=1:100



仮設計計画図 S=1:100

※解体建物外周部はシート養生を行う。  
 ※解体後、敷地内は砕石 (C-40) t150敷込み転圧とする。

件名	百石第4分団旧拠点施設解体工事	設計図	図名		解体建物配置図・仮設計計画図		図番	A - 03
			縮尺	1:100	日付			

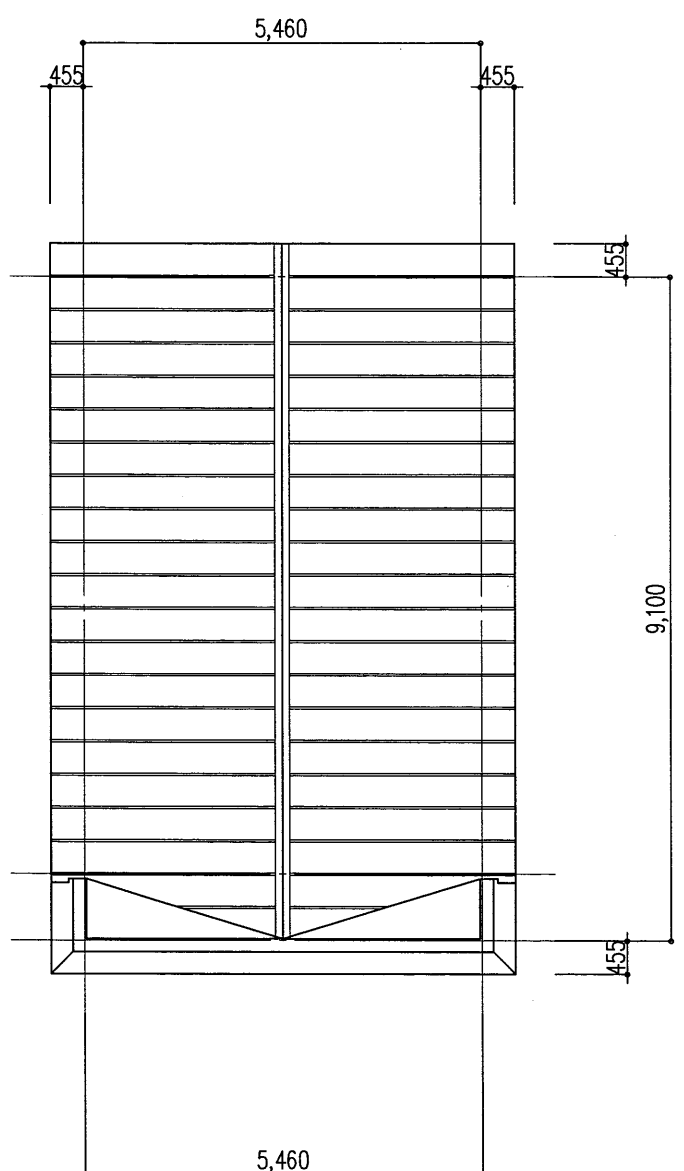
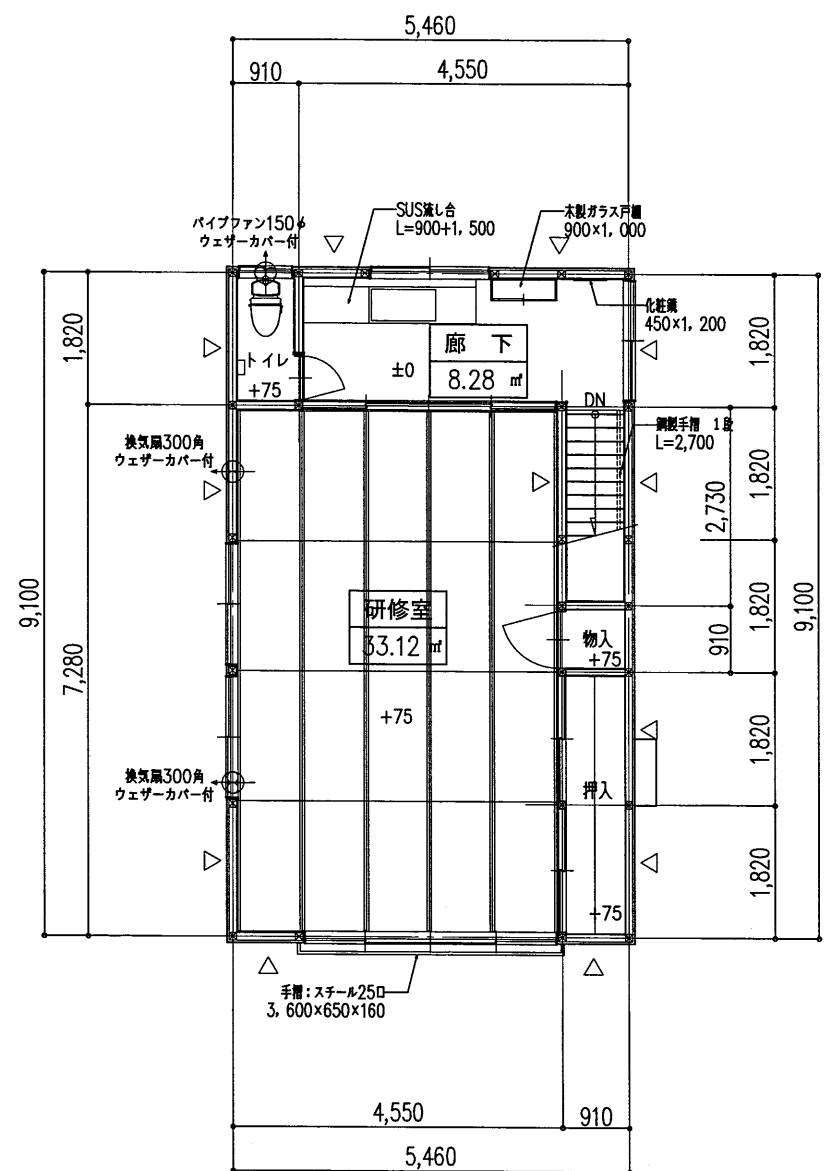
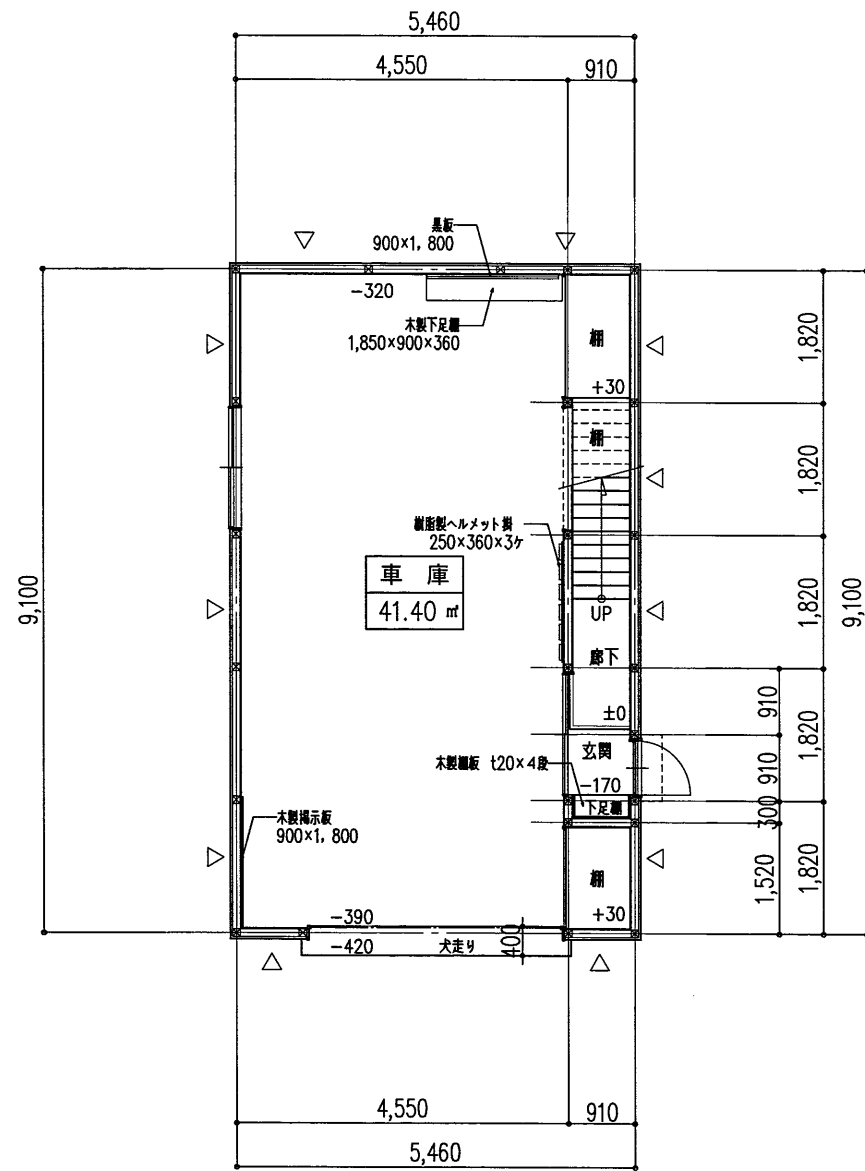
外部仕上表（共通）

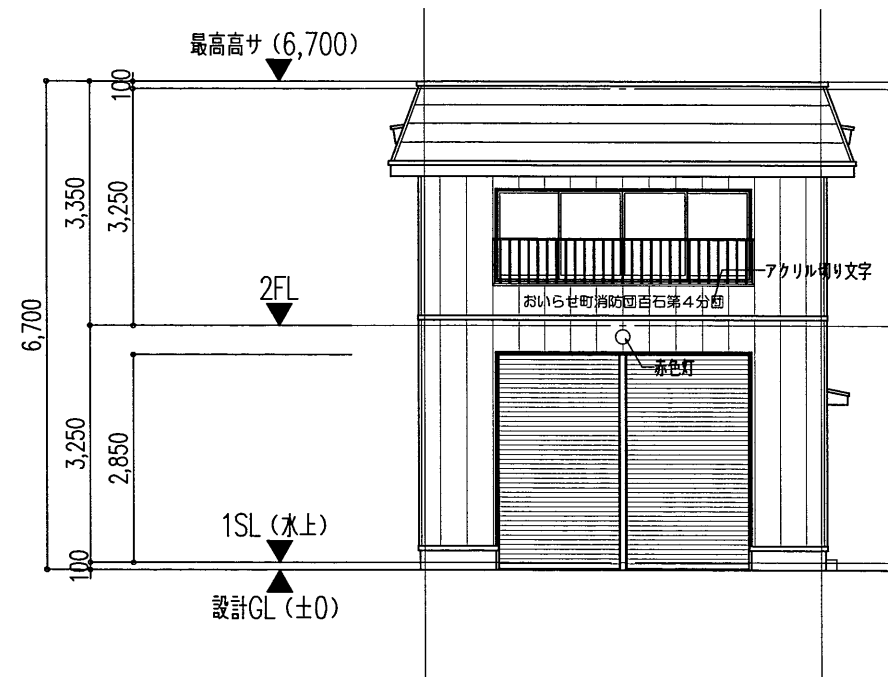
基礎	鉄筋コンクリート布基礎：t=120 素地のまま 土台水切り：カラー鉄板折り曲げ加工	開口部	アルミサッシ（網戸共）
屋根	カラー鉄板 瓦葺き、破風・鼻隠し：カラー鉄板 野地板 t=12の上 アスファルトルーフィング	その他	手摺：スチール25口 3,600×650×160 塩ビ堅樋60φ、塩ビ軒樋
軒天	金属系サイディング 張り		犬走り：コンクリート金ゴテ押さえ
外壁	金属系サイディング t=15縦張り		テレビアンテナ、ホース乾燥ポール（基礎共解体）
	化粧見切り：カラー鉄板折り曲げ加工		

内部仕上表

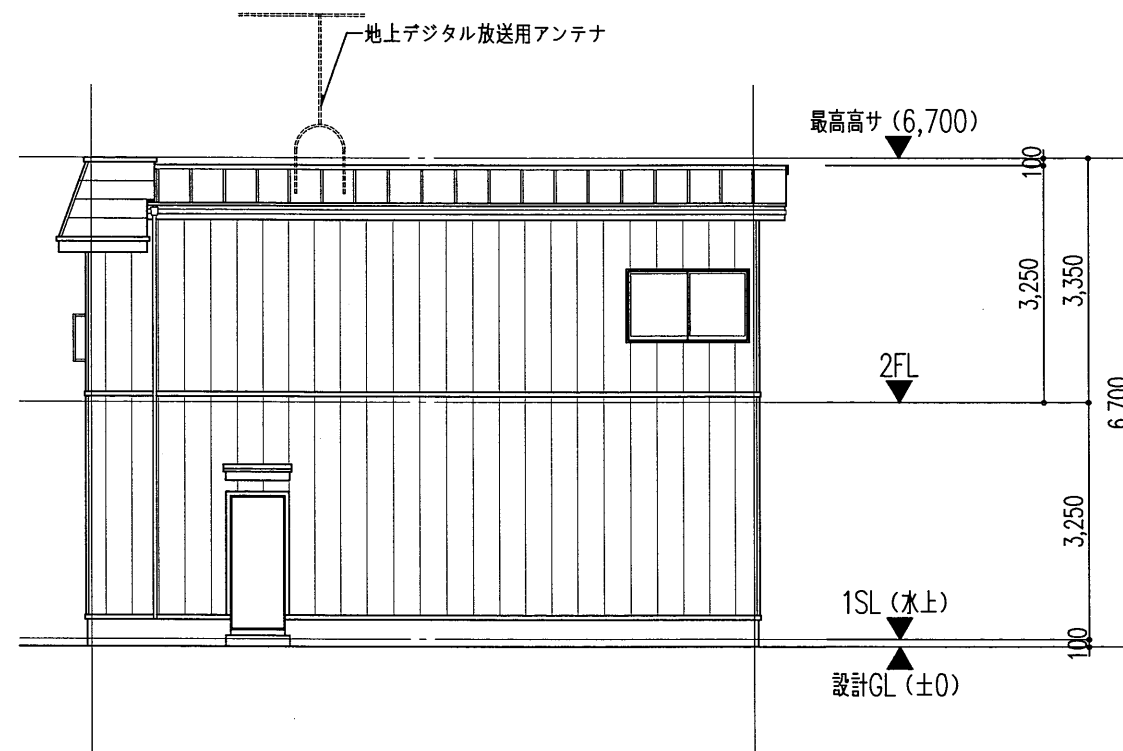
階	室 名	下地	床	基準FL からの床高	巾 木	H	下地	壁	下地	天 井	C H	廻縁	備 考	室 名		
1	車 庫	土間コン t=150	コンクリート金ゴテ押え	-320～ -390	コンクリート	250	木胴縁	石膏ボードt=12素地のまま	木野縁	石膏ボードt=9素地のまま	2,850～ 2,920	木製 36×36	木製掲示板：900×1,800 黒板：900×1,800 木製下足棚：1,850×900×360 樹脂製ヘルメット掛：250×360×3ヶ	車 庫		
					木製見切り	36×36										
		木根太組	耐水合板 t=9	+30	雑巾摺	25×25	木胴縁	石膏ボードt=12素地のまま	木野縁	石膏ボードt=9素地のまま	2,500	木製 36×36	中段前縁：45×90、根太：30×60φ303			
	玄 関	土間コン t=120	コンクリート金ゴテ押え	-170	木製	170	木胴縁	化粧石膏ボードt=12	木野縁	化粧石膏ボードt=9（ジブトーン）	2,700	木製 36×36	下足棚4段：W780×D300×H1,650	玄 関		
		廊 下	木根太組	下地合板 t=15の上 長尺塩ビシート貼り	±0	木製	60	木胴縁	化粧石膏ボードt=12	木野縁	化粧石膏ボードt=9（ジブトーン）	2,530	木製 36×36			
	2	廊 下	木根太組	下地合板 t=15の上 木製フローリング t=15貼り	±0	木製	60	木胴縁	化粧石膏ボードt=12	木野縁	化粧石膏ボードt=9（ジブトーン）	2,400	木製 36×36	SUS流し台：L=1,500×H=800 SUSコンロ台：L=900×H=700 木製食器棚：L=900×H=1,000（ガラス戸） 化粧鏡：450×1,200	廊 下	
トイレ			木根太組	下地合板 t=15の上 長尺塩ビシート貼り	+75	木製	60	木胴縁	石膏ボードt=12.5の上 ビニルクロス貼り	木野縁	化粧石膏ボードt=9（ジブトーン）	2,350	木製 36×36	バーバーホルダー パイプファン150φ		トイレ
			研修室	木根太組	下地合板 t=15の上 畳敷 t=60	+75	畳寄せ	60×25	木胴縁	化粧石膏ボードt=12	木野縁	化粧石膏ボードt=9（ジブトーン）	2,350	木製 36×36		
押 入		木根太組	シナ合板 t=9	+75	雑巾摺り	25×25	木胴縁	シナ合板 t=5.5	木野縁	石膏ボードt=9素地のまま	2,350	木製 36×36	中段、枕棚	押 入		
		物 入	木根太組	シナ合板 t=9	+75	雑巾摺り	25×25	木胴縁	シナ合板 t=5.5	木野縁	石膏ボードt=9素地のまま	2,350	木製 36×36		中段	物 入
		階 段	木根太組	スギ無垢板 t=30	----	木製	60	木胴縁	化粧石膏ボードt=12	木野縁	化粧石膏ボードt=9（ジブトーン）	----	木製	鋼製手摺 1段 L=2,700	階 段	

⊠ 柱 105×105  
▽ 筋交い 45×90 (シングル)

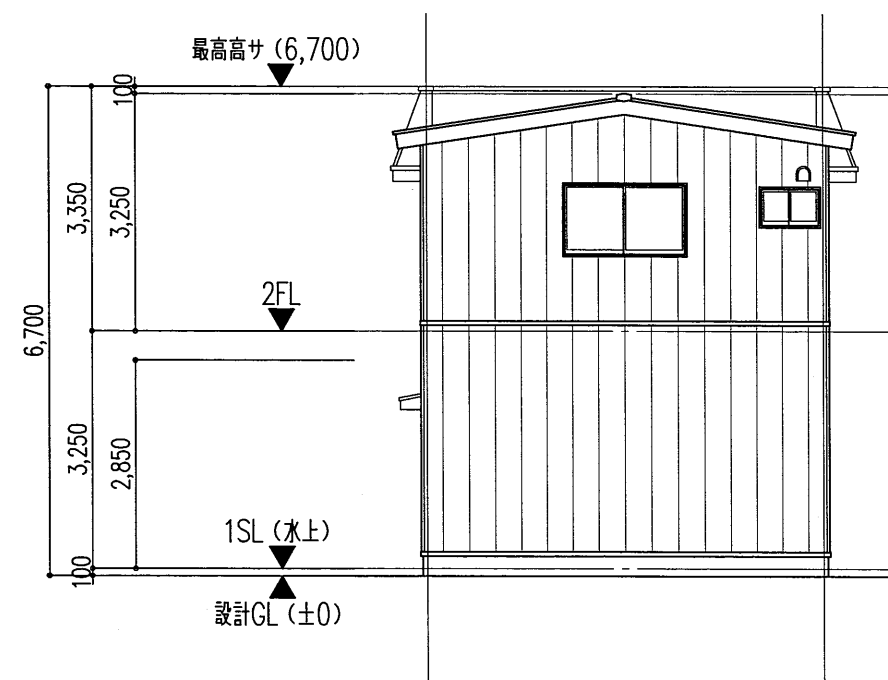




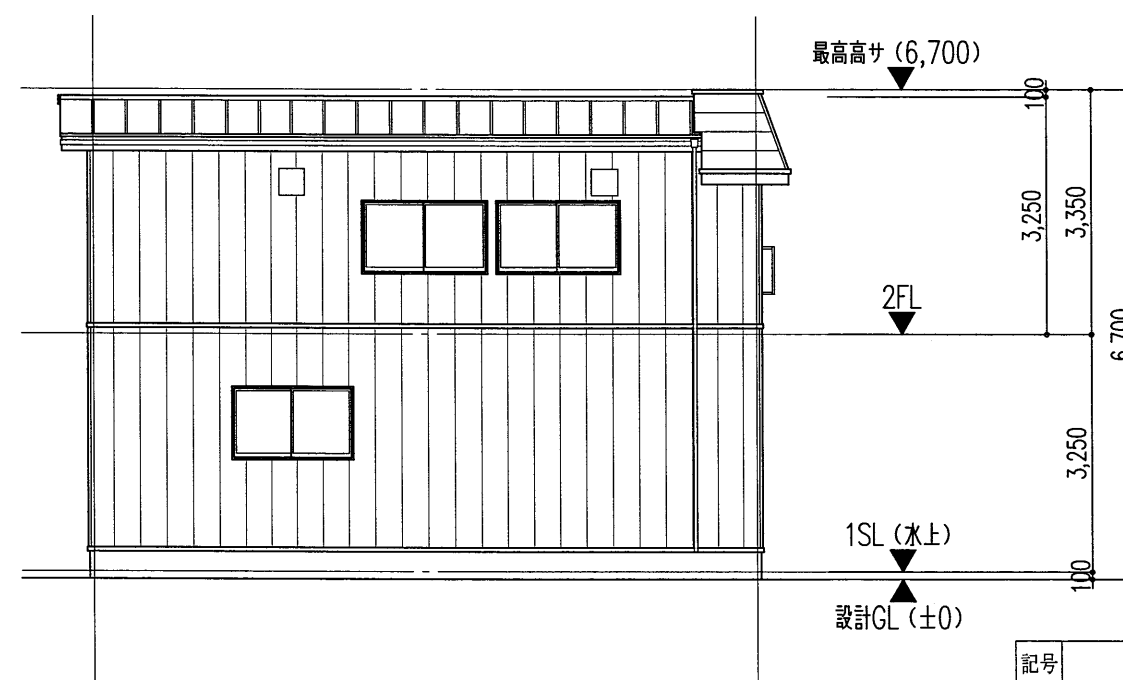
南側立面図 S=1:100



東側立面図 S=1:100

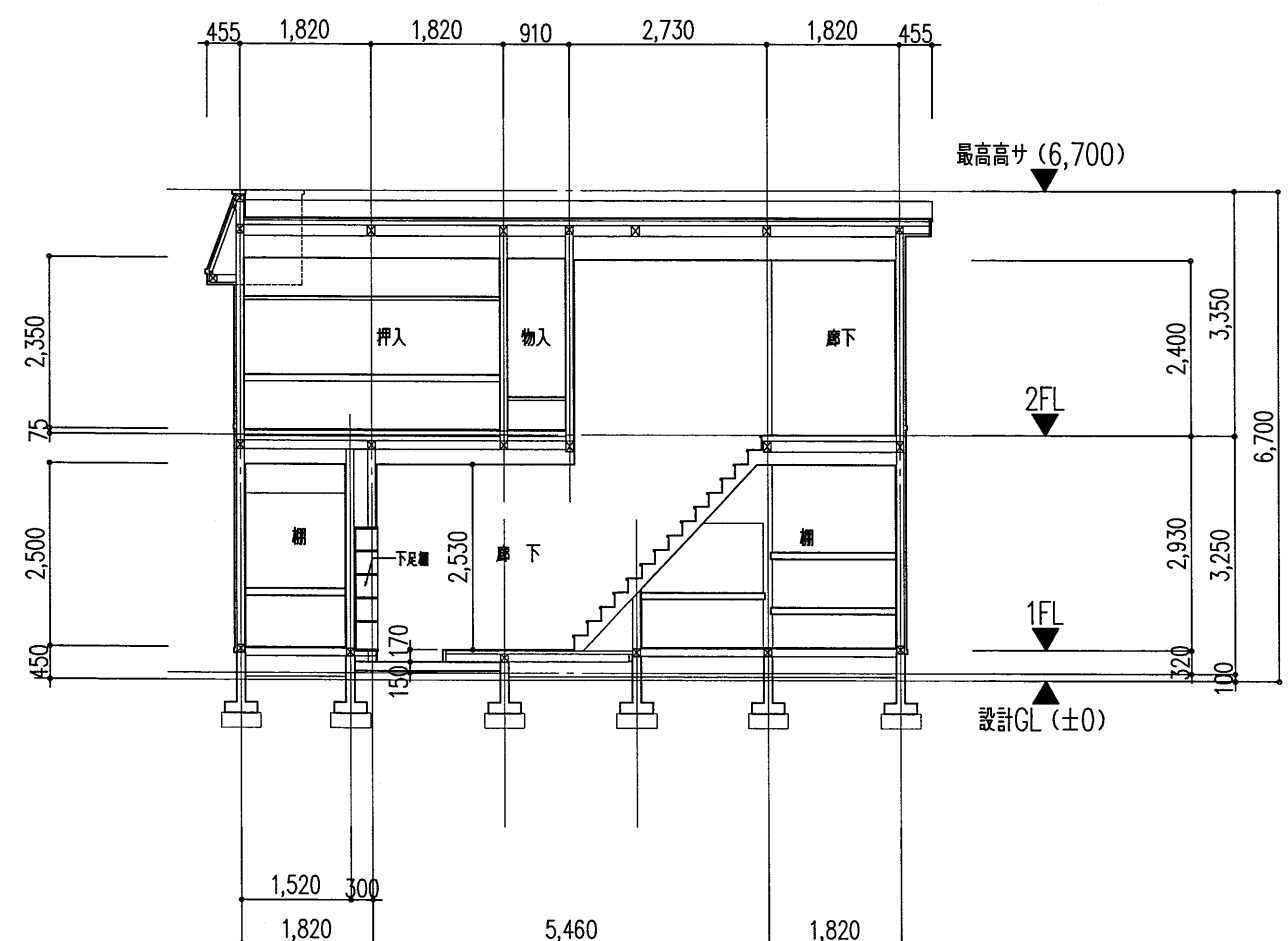
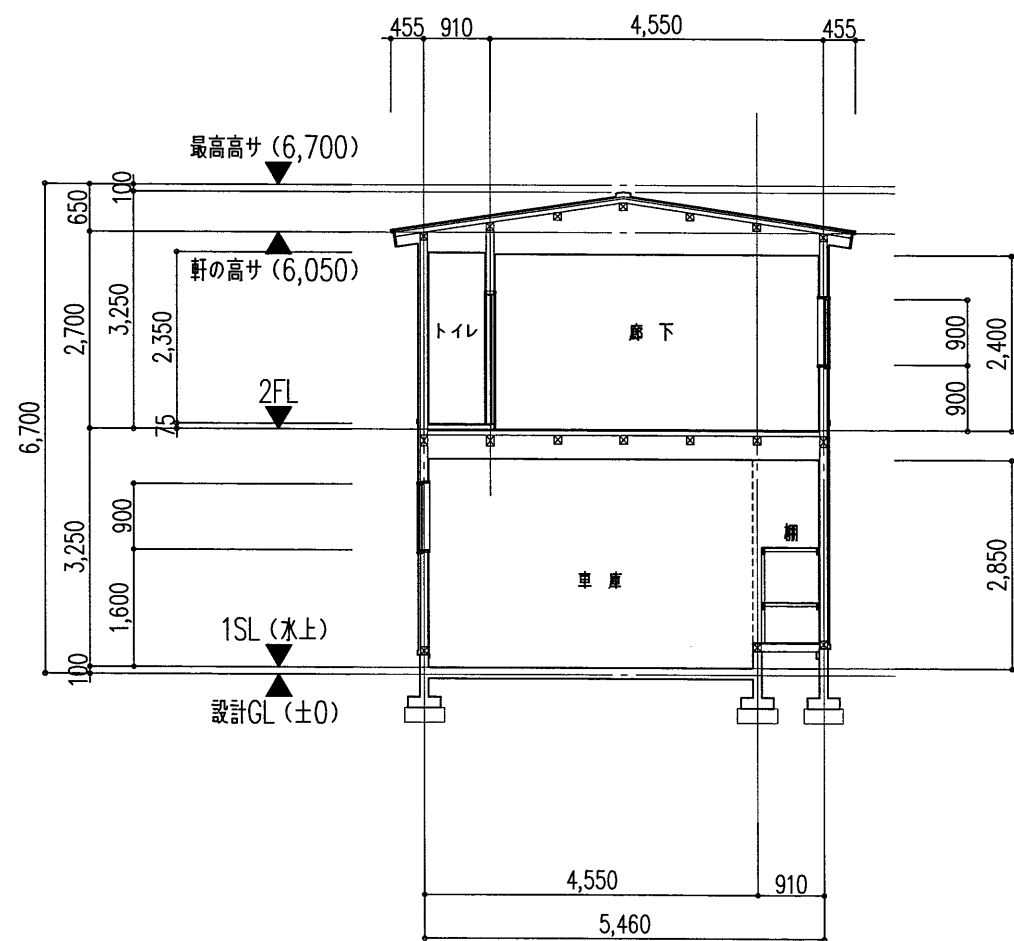
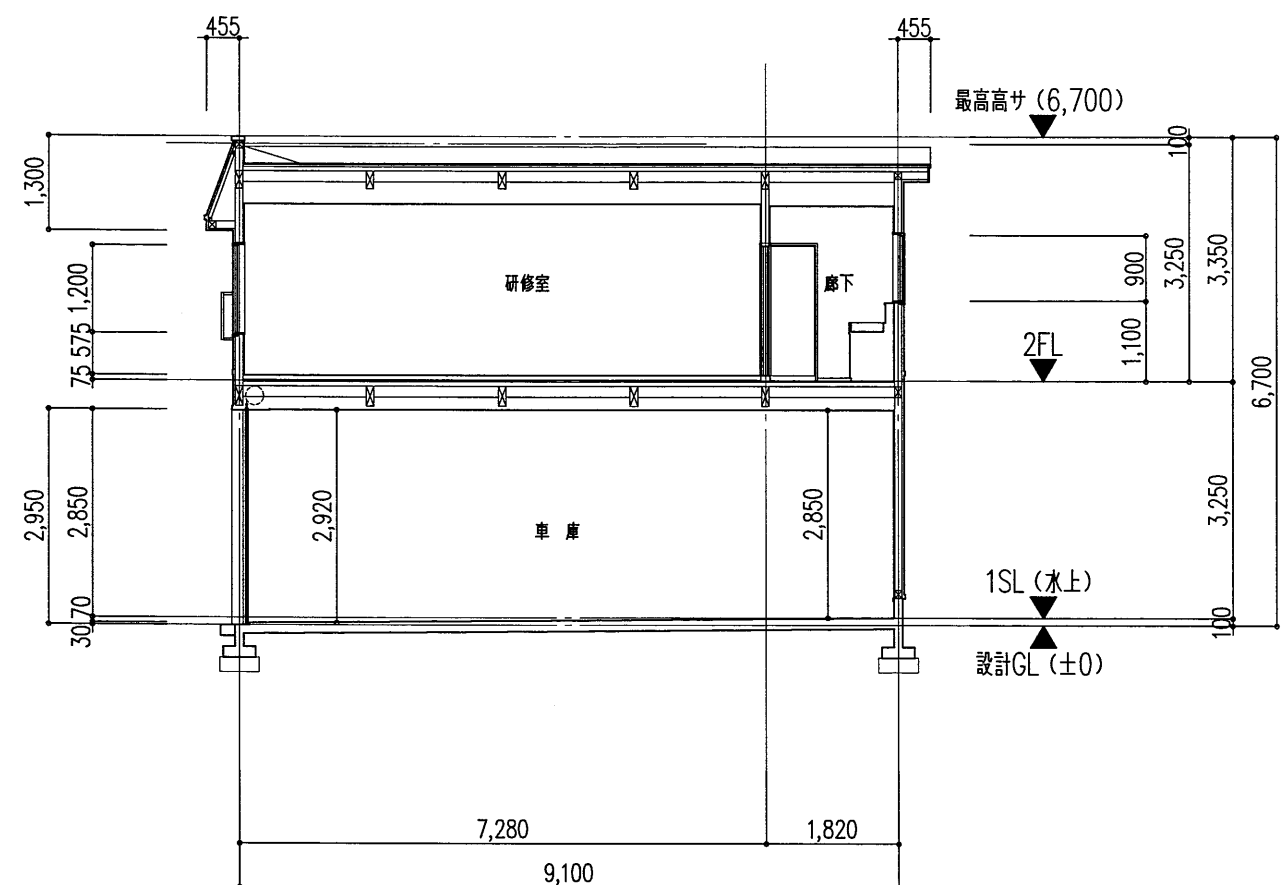
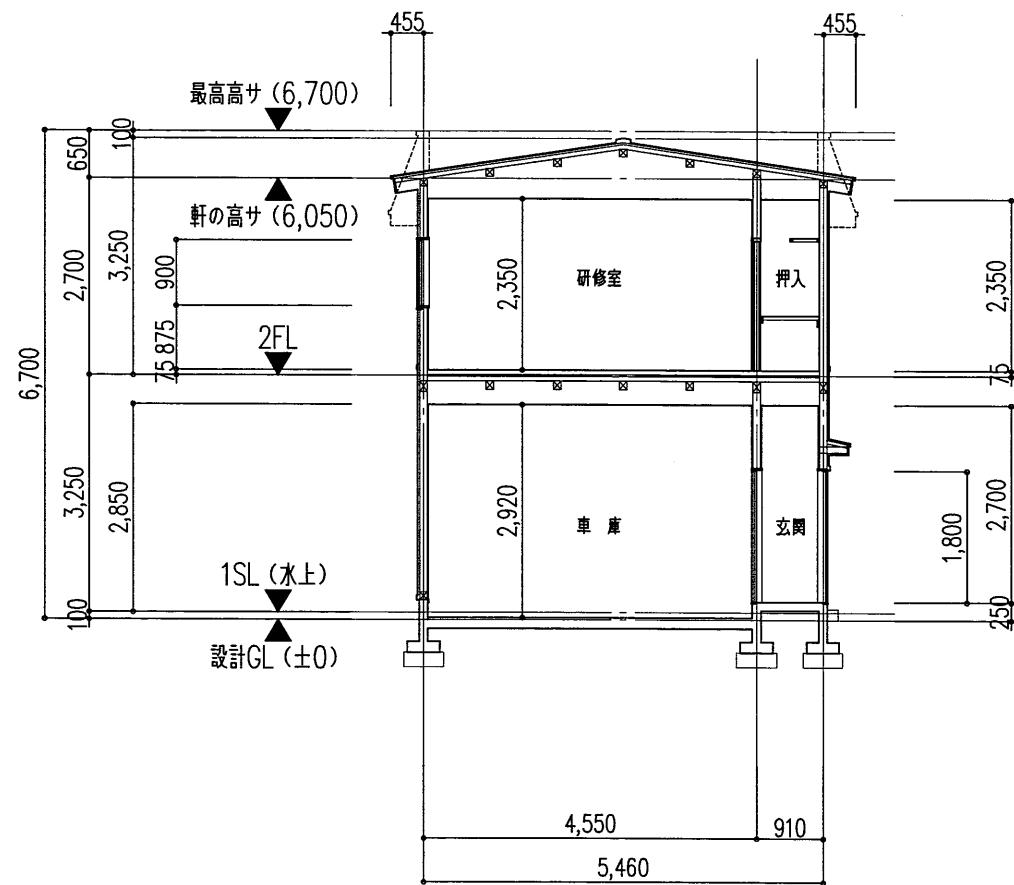


北側立面図 S=1:100



西側立面図 S=1:100

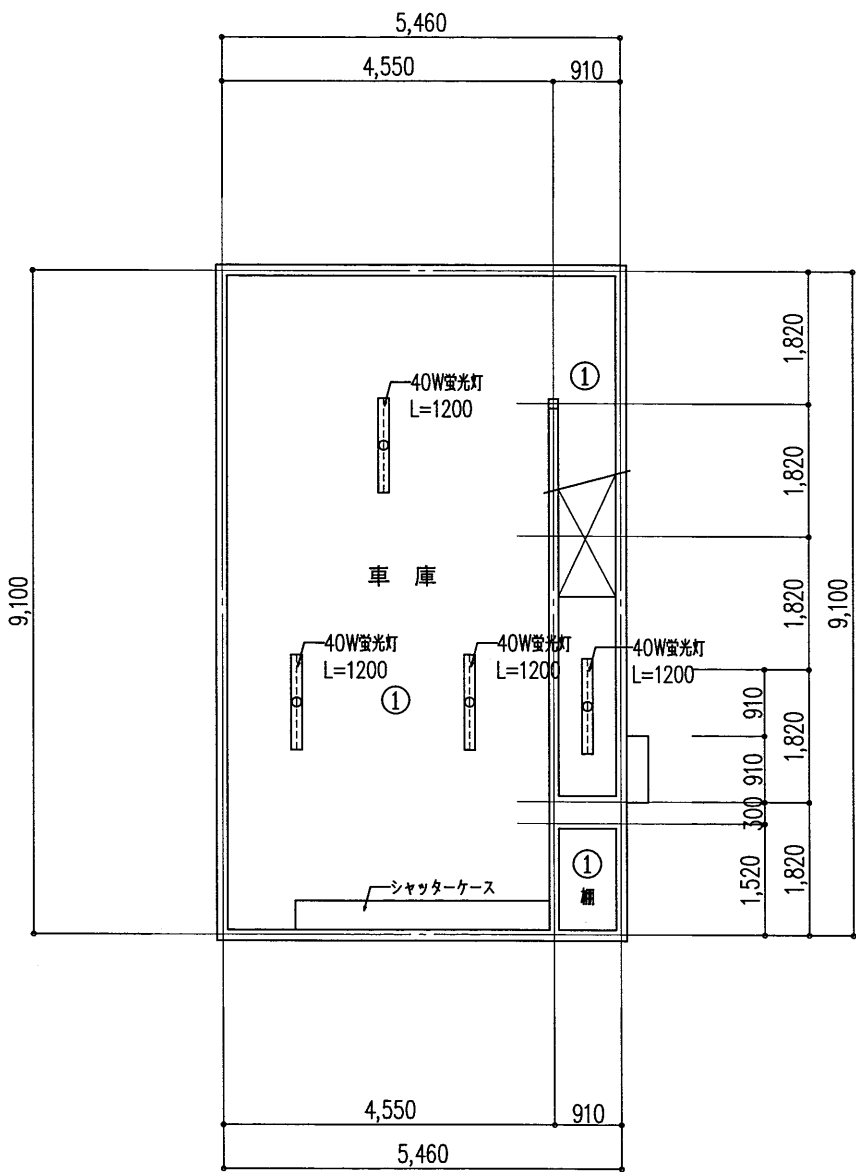
記号	仕 上
①	屋根：カラー鉄板 瓦葺き（鋼製雪止め）
②	破風板・鼻隠し：カラー鉄板 折り曲げ加工
③	外壁：金属系サイディング t=15縦張り
④	化粧見切り：カラー鉄板折り曲げ加工
⑤	土台：コンクリート布基礎の上 素地のまま
⑥	土台水切：カラー鉄板 折り曲げ加工



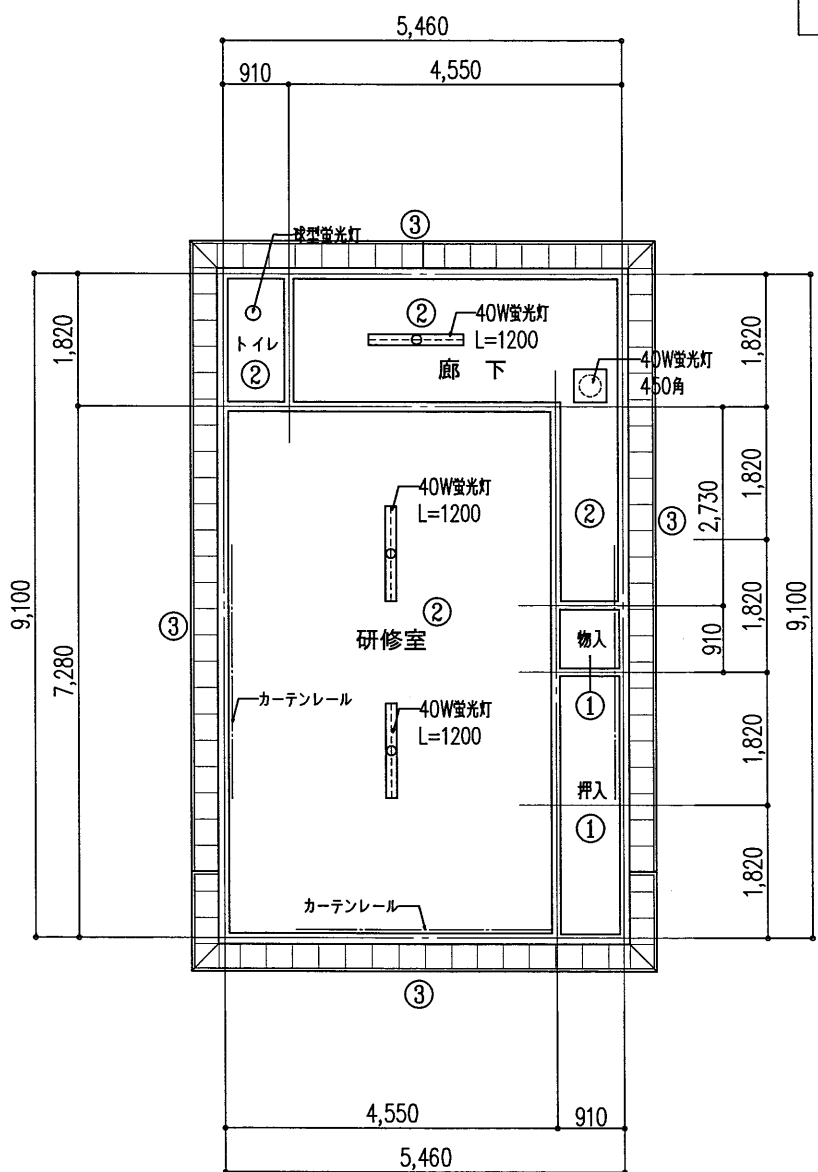
件名	百石第4分団旧拠点施設解体工事	設計図	図名 解体建物断面図			図番	A-07
			縮尺	1:100	日付		



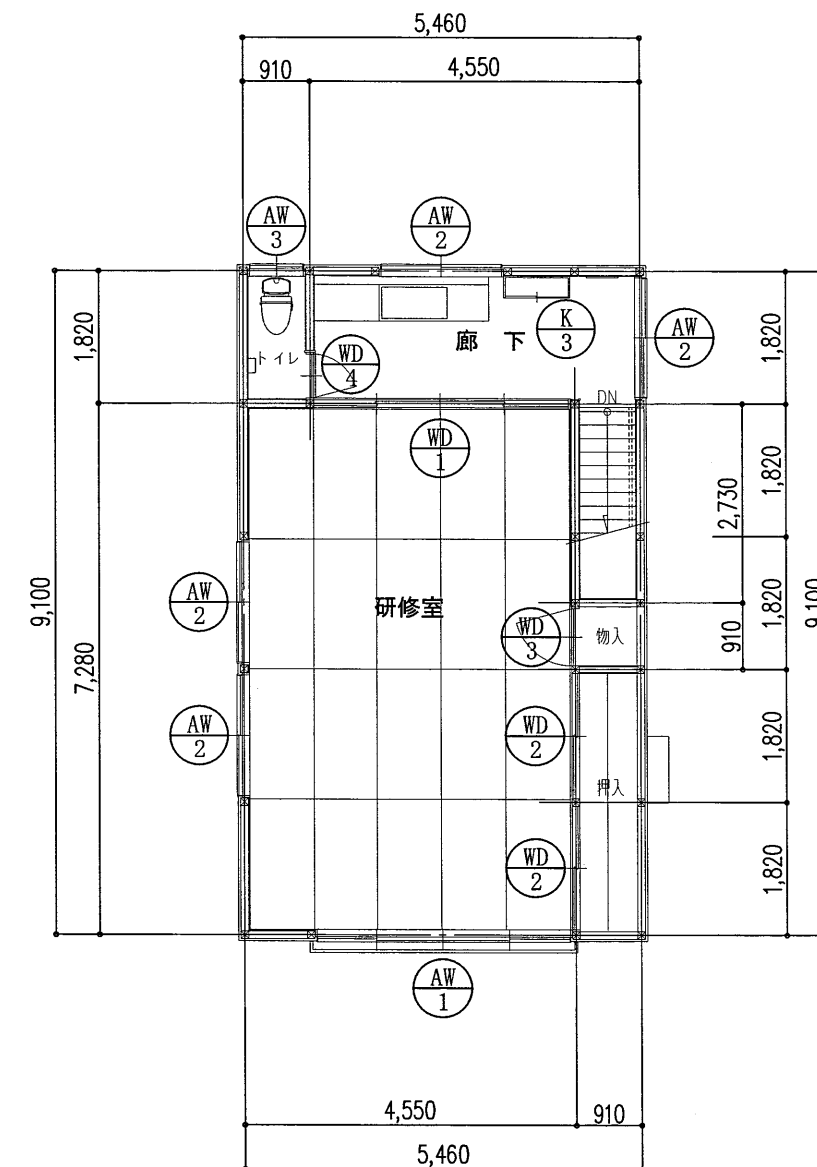
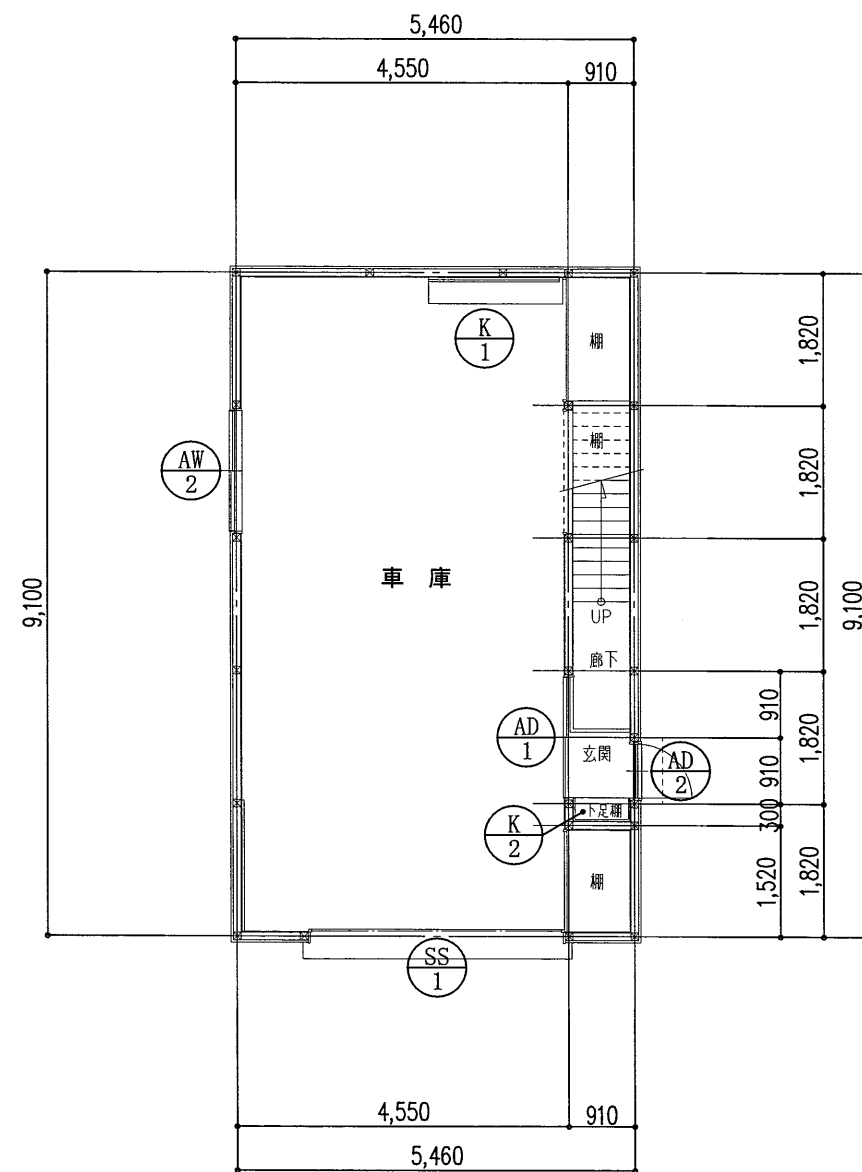
記号	仕 上
①	石膏ボードt=9素地のまま
②	化粧石膏ボードt=9（ジブトーン）
③	金属系サイディング 張り
④	



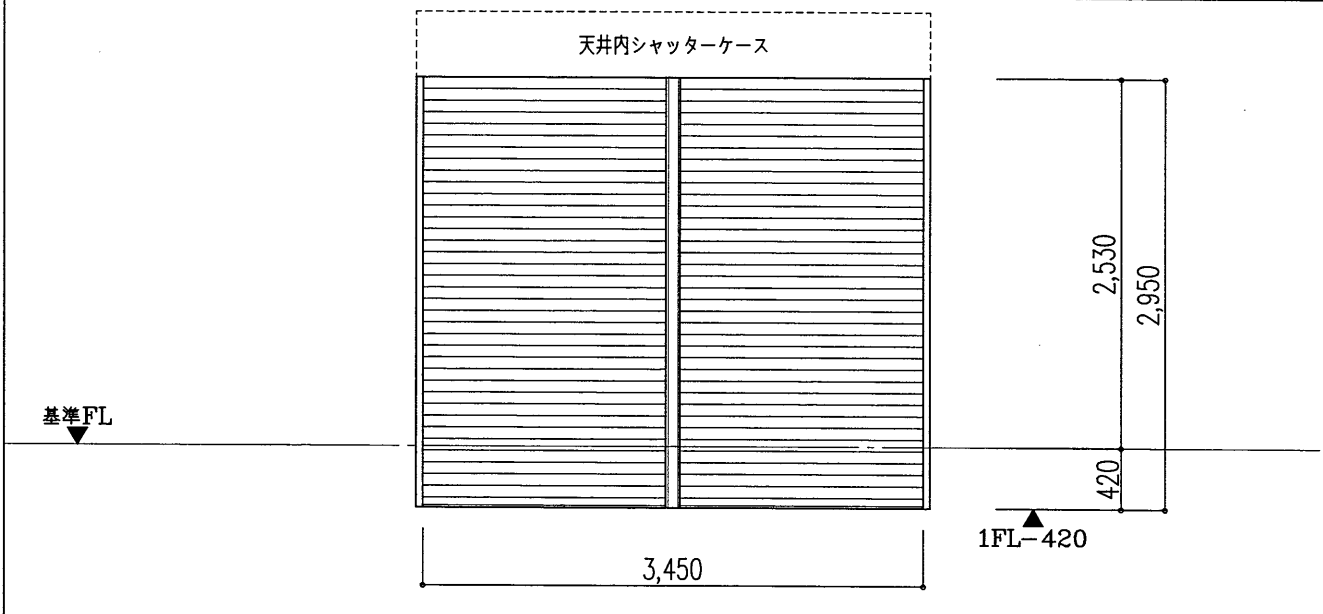
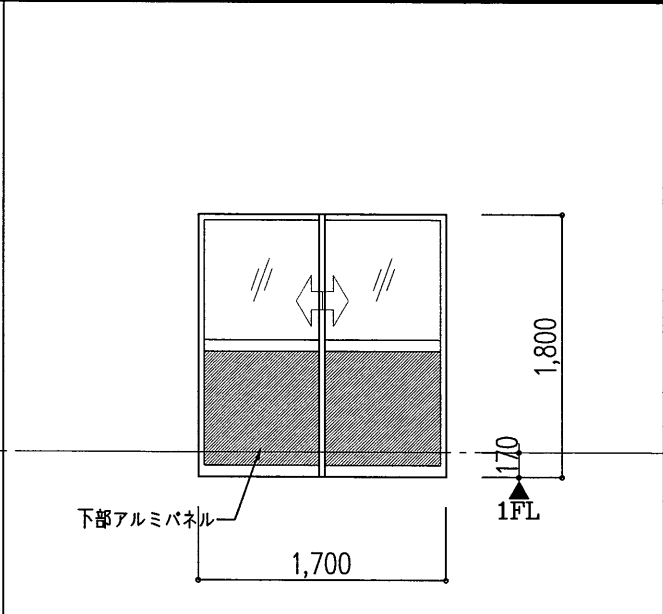
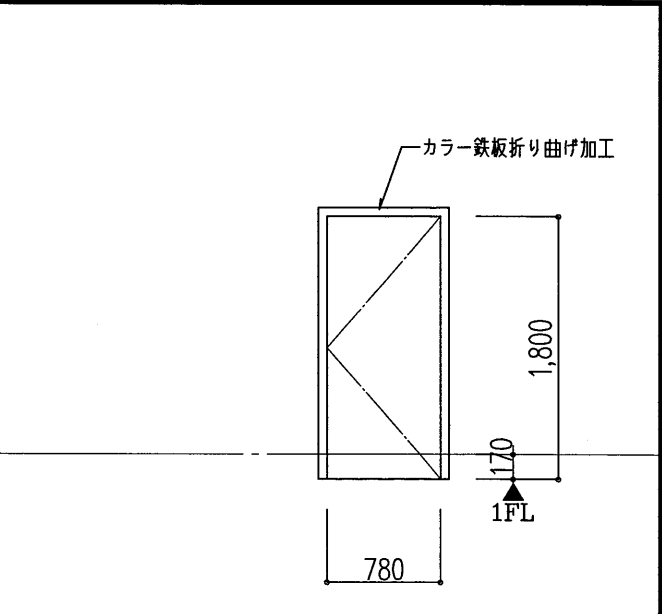
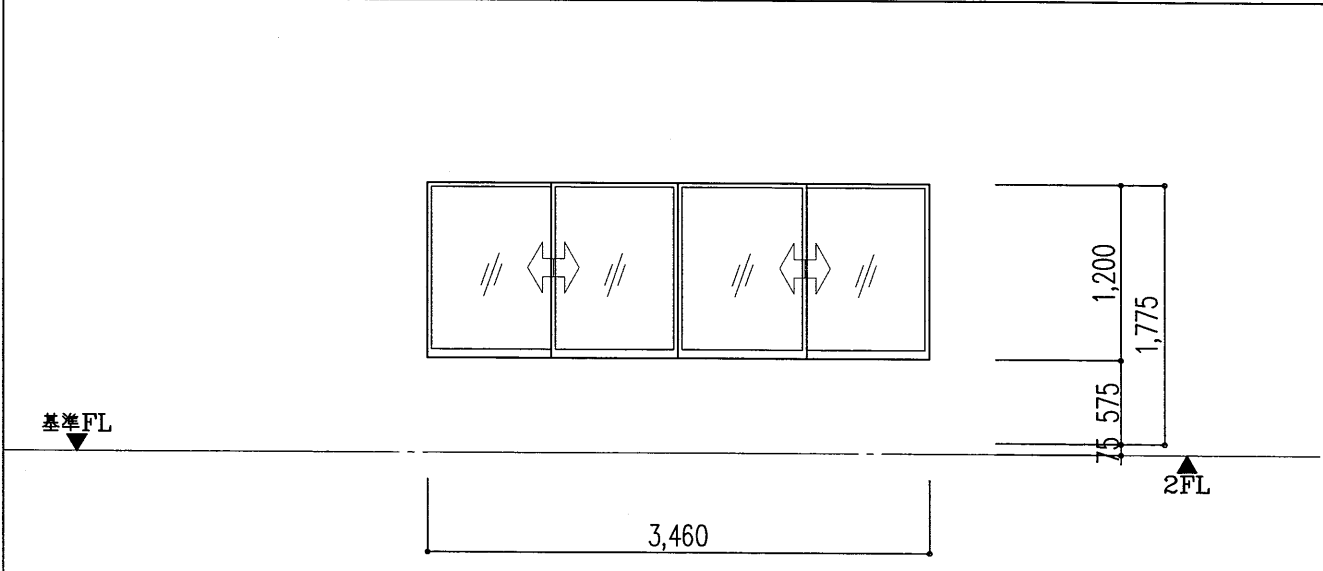
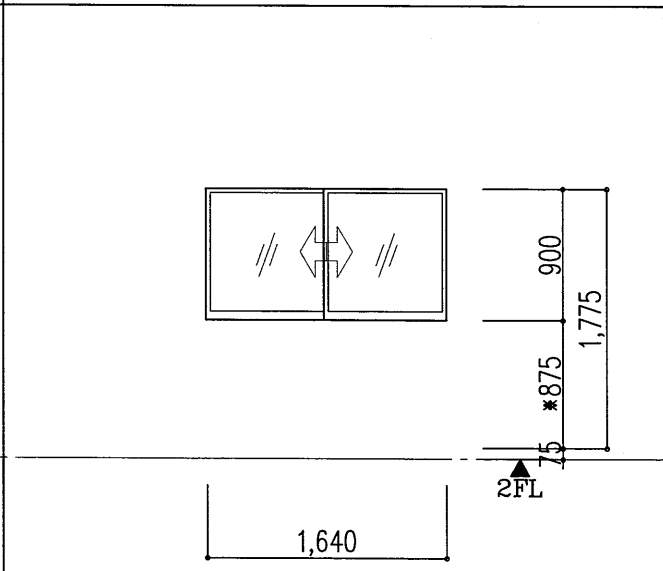
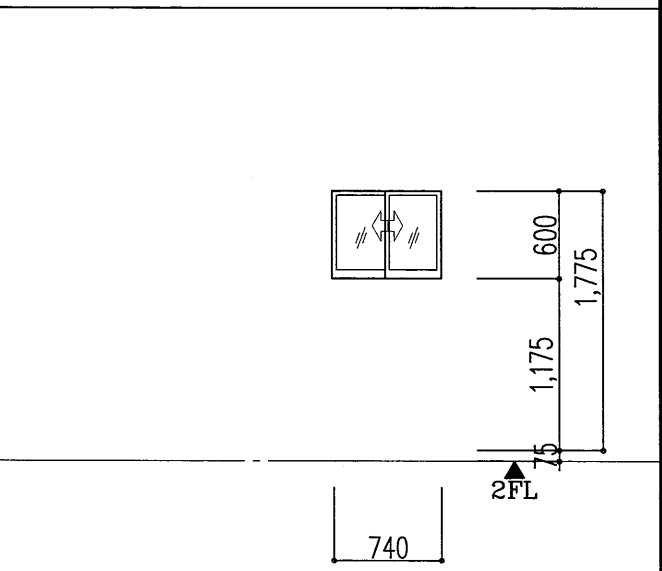
1階天井伏図 S=1:100



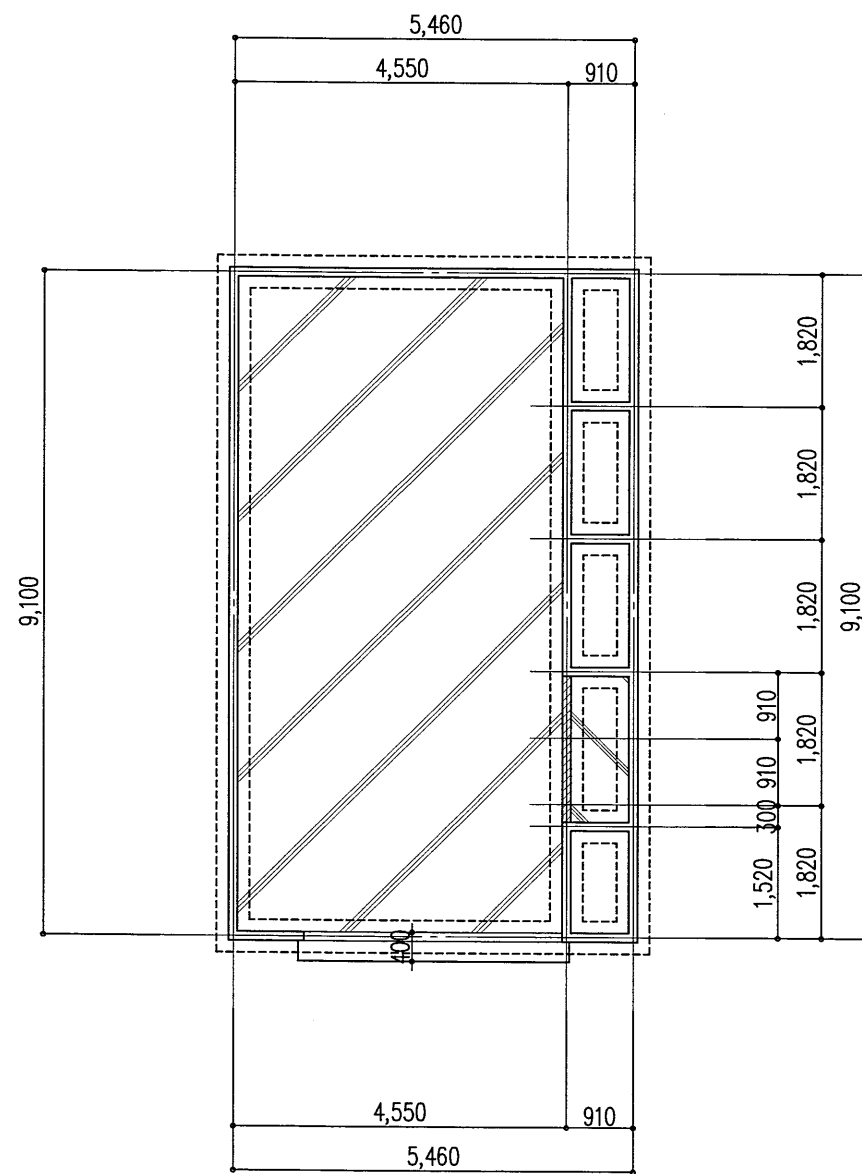
2階天井伏図 S=1:100



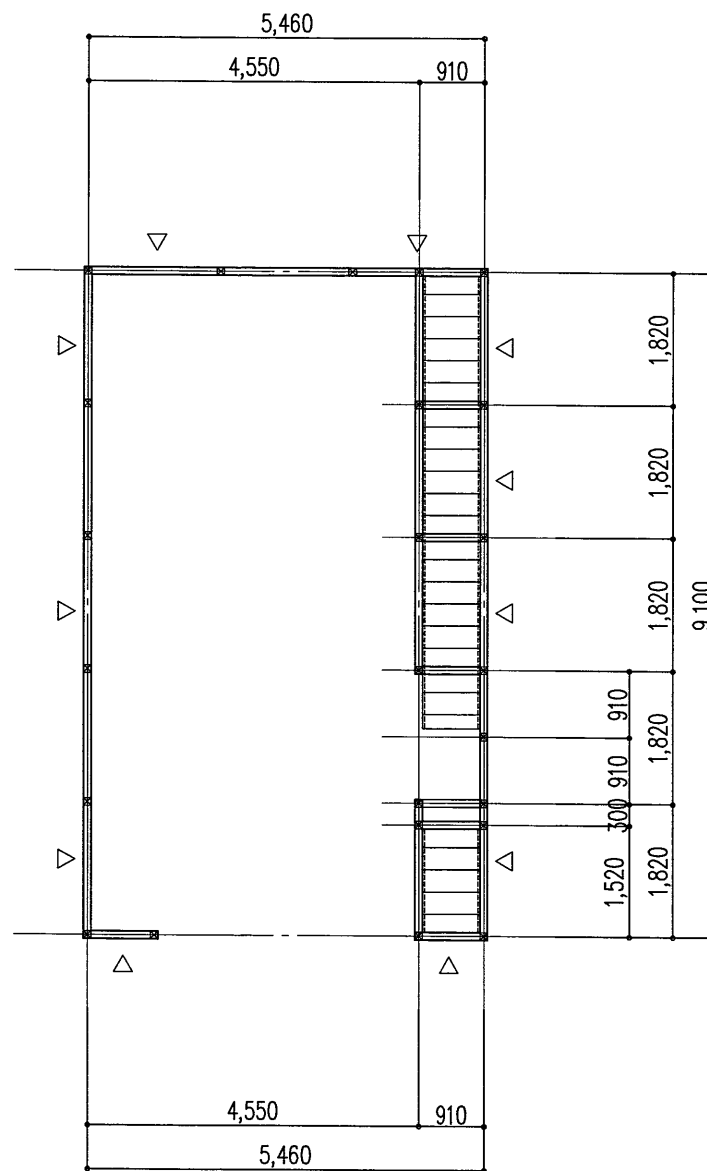
件 名	百石第4分団旧拠点施設解体工事	設 計 図	図 名	建具表キープラン			図 番	A - 09
			縮 尺	1:100	日 付			

形状・寸法										
	基準FL		1FL		1FL					
符号・形式・数量	① SS 軽量スチールシャッター (スラット) 1		① AD 1 アルミ引違いドア 1		① AD 2 アルミ片開きドア 1					
W×H・見込	3,450 × 2,950		1,700 × 1,800		780 × 1,800					
材質・仕上	スラット 鋼板 t=0.8 ・ OP塗装		カラーアルミ		アルミフラッシュパネル t36					
建具金物	天井内シャッターケース、ガイドレール、マグサレール		付属金物一式、フラットレール		付属金物一式、モノロック					
ガラス (種類・厚)	な し		型板ガラス t=3 / 下部アルミパネル		な し					
使用箇所・備考	車 庫		玄 関 ・		玄 関 ・					
形状・寸法										
	基準FL		2FL		2FL					
符号・形式・数量	① AW 1 アルミ面引き分け窓 1		② AW 2 アルミ引違い窓 5		③ AW 3 アルミ引違い窓 1					
W×H・見込	3,460 × 1,200 × 70		1,640 × 900 × 70		740 × 450 × 70					
材質・仕上	カラーアルミ		カラーアルミ		カラーアルミ					
建具金物	付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式					
ガラス (種類・厚)	透明ガラス t=3		型板ガラス t=3		型板ガラス t=3					
使用箇所・備考	2階研修室 ・ 網戸		1階車庫、2階研修室、2階廊下 ・ 網戸		2階トイレ ・ 網戸					
			件名	百石第4分団旧拠点施設解体工事		図名	建 具 表 ( 1 )		図番	A - 10
				設 計 図		縮 尺	1:100	日 付		





基礎伏図 S=1:100



土台伏図 S=1:100

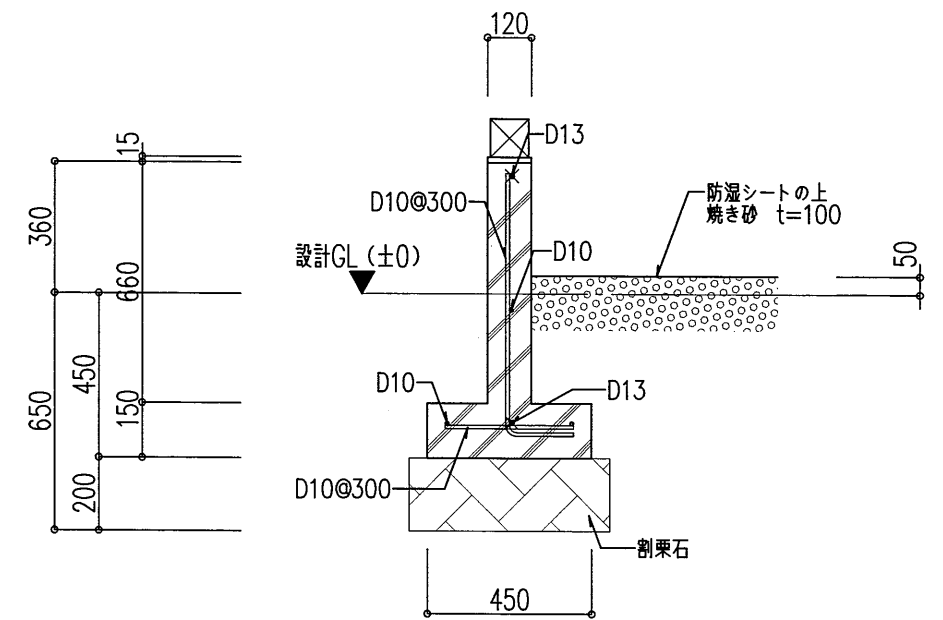
凡 例

：土間コンクリートt=150を示す。(D10@200タテヨコ)

：土間コンクリートt=120を示す。(D10@200タテヨコ)

※特記なき土台・大引きは105角とする。

※特記なき火打ち土台は90角とする。

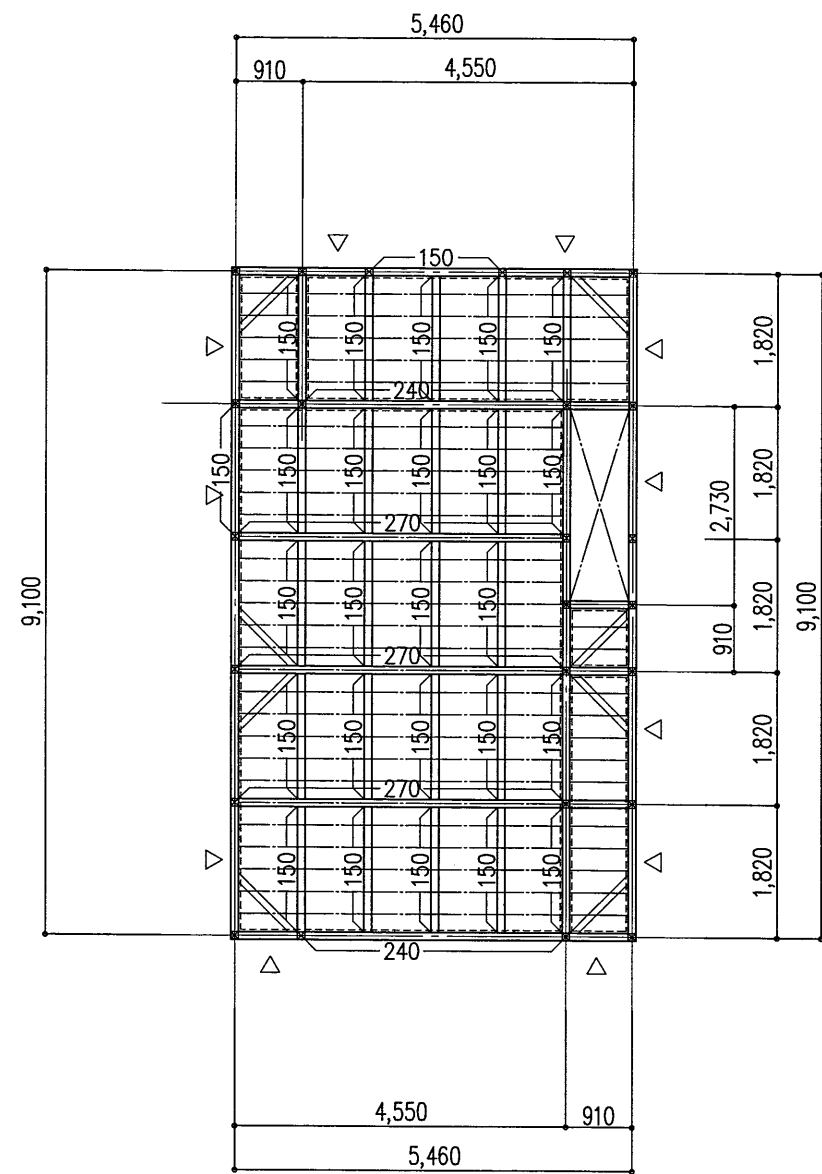


基礎伏図 S=1:100

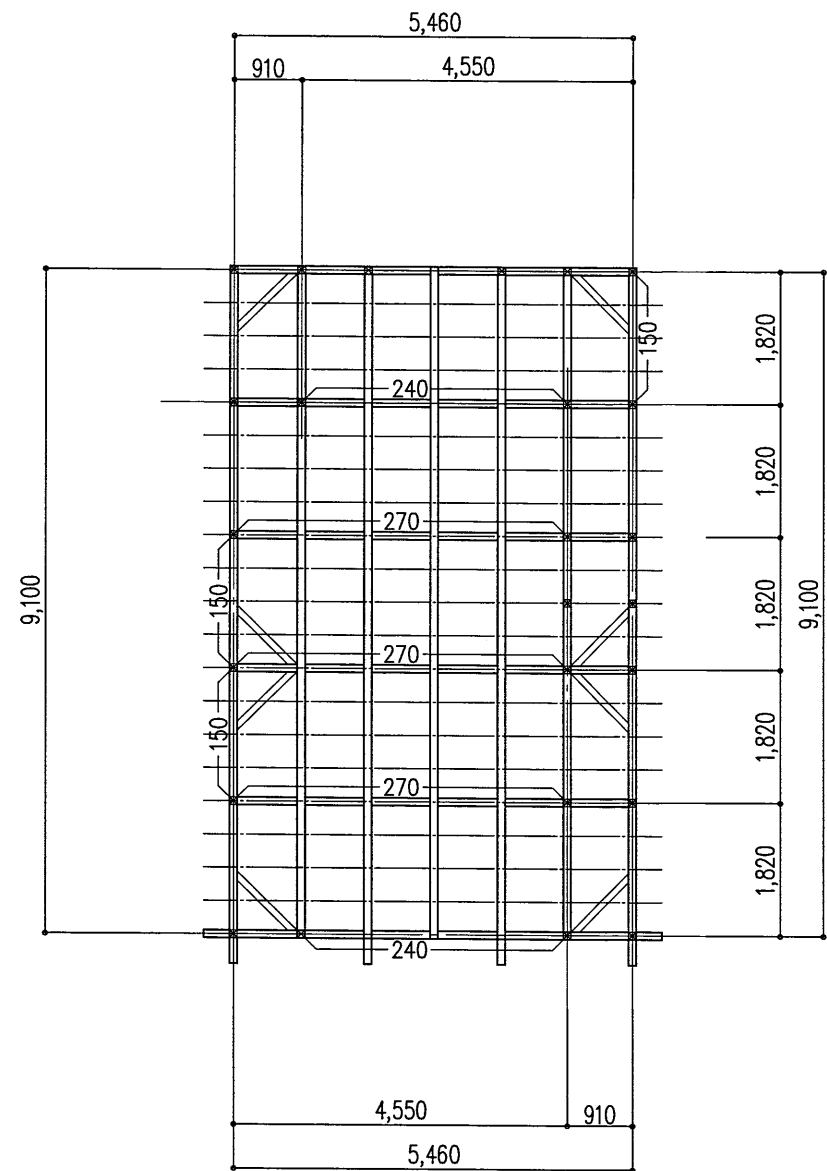
件名	百石第4分団旧拠点施設解体工事	設計図

図名	解体建物基礎伏図・土台伏図			図番
縮尺	1:100	日付		

- ※特記なき桁・梁は105角、火打ち梁は90角とする。
- ※桁・梁巾はすべて105とし図中表記は梁せいを示す。
- ※根太：45×60 @303とする。
- ※垂木：45×60 @455とする。
- ※小屋束：105×105 @910とする。



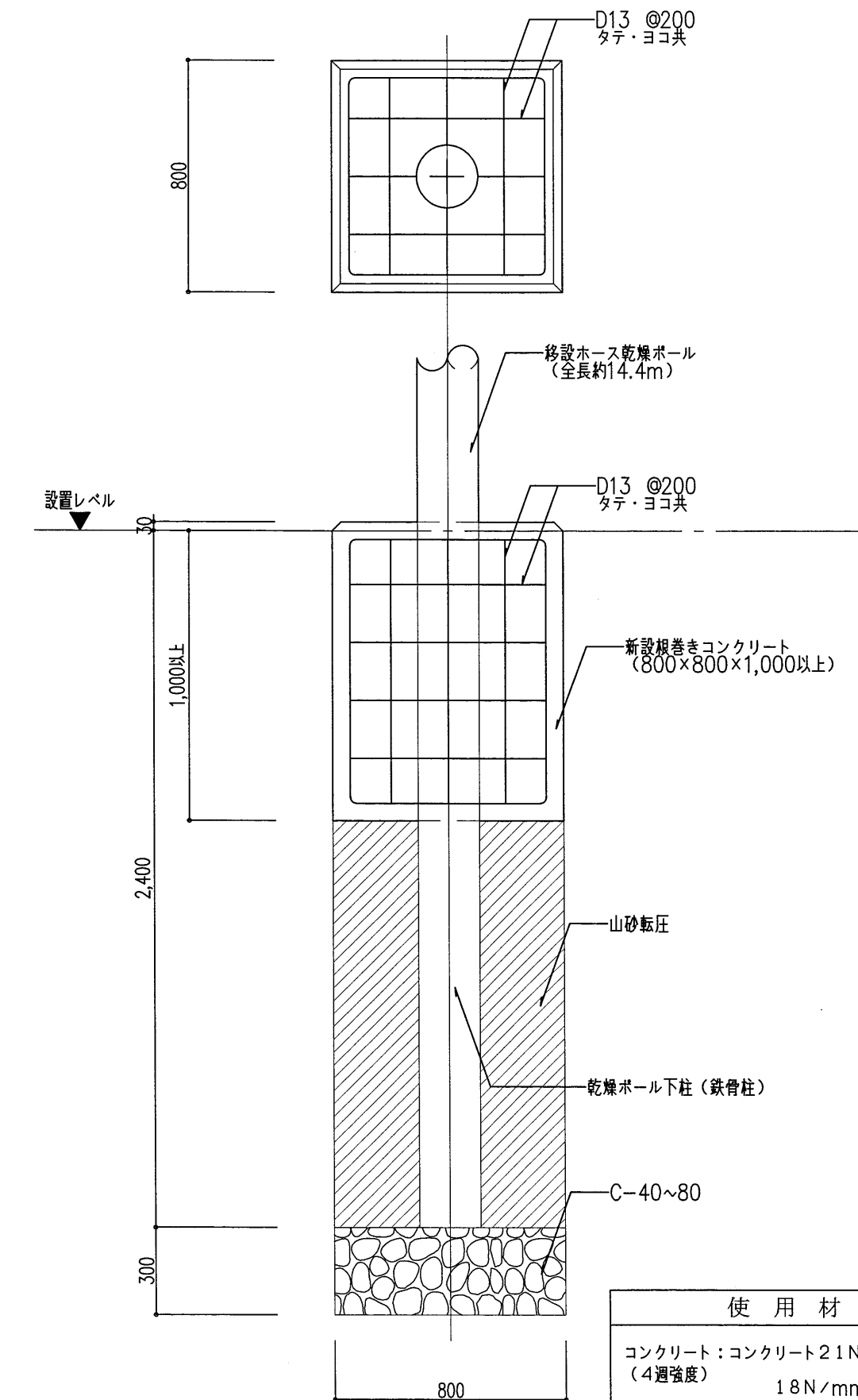
2階床梁伏図 S=1:100



小屋梁伏図 S=1:100

## ホース乾燥ポール 基礎詳細図

S=1:20



## 使用材料

コンクリート：コンクリート21N/mm<sup>2</sup>基礎・土間）  
（4週強度）

(4週強度) 18N/mm<sup>2</sup>捨てコンクリート)

鉄筋 : SD295A (重ね継ぎ手)

Technical drawing of a NA basketball court floor system. The drawing shows a side elevation and a top plan view. The side elevation shows the floor structure with various components labeled with numbers 1 through 19. The top plan view shows the overall dimensions of the court, including a total length of 14400mm and a width of 2550mm. The drawing includes detailed views of the floor assembly, including the subfloor, floor joists, and the floor finish. The drawing also includes a list of materials and components, and a table of dimensions.

品番	品名	個数	材質	備考	品番	品名	個数	材質	備考
19	NAホスボール工事説明書	1	上質紙		10	六角ボルト M6×12×12	1	しんちゅう	
18	保管注意事項ラベル	1	上質紙		9	ゴムブッシュ (φ20) t3.2・t4.0共用	1	EPDM	
17	中置用六角ナットM16 (付クリップ)	2組	強度区分4		8	底キャップ (φ216.3用)	1	SPHC	
16	アイボルト (M16)	2	SS400		7	キャップ (φ165.2用)	1	SPHC	
15	安全等取付用足場座 (C3型)	2	SAPH370		6	通達管 (φ21.7×1.9-165)	4	STK400	
14	警告ラベル (安全に関するご注意)	1	コートフロア用シート		5	足場ボルト (W5/8)	29	強度区分4.6	
13	鉄板取付部	2	しんちゅう		4	足場座 (C5型)	29	SAPH370	
12	鉄板 (NAホスボール) 14.4-360	1	アルミ		3	φ216.3×4.5-6500	1	STK540	
11	ゴムブッシュ (29×63有筋径)	1	EPDM		2	φ193×3.2-5400	1	STK490	
					1	φ165.2×3.3-3250	1	SS400	

設計 横 図 承 認 尺 度 年月日  
 中西 増田 坂崎 1:50 2009.5.22


名 称 NAホスボール ウィンチ式面側12本吊

図番 00-67501-1

注記：品番19はビニールで梱包後、ガムテープ等で貼付  
 して、ケーブルガイド用リード線を示す。  
 表示：接合表示  
 地際表示（1/4円周に黄色表示）  
 防食：環境記章塗料塗布（ノンテール系）  
 仕上：溶融鋳めっき 450g/m<sup>2</sup>以上  
 （ボルト類 350g/m<sup>2</sup>以上）

付属3
付属2
付属1

付属3	ウィンチ (GM-3-SI-NA型)	2組	-	987
付属2	ウィンチ架台 (両側用: 併用タイプ)	1組	-	986
付属1	ウィンチ式吊下装置両側12本バンドレス型	1組	-	995
品番	品 名	個数	材 質	備 考

設計	校 図	承認	尺 度	年月日	名 称	NAホスボール ウィンチ式両側12本吊	
中西	増田	坂崎	1:50	2009. 5.22			

[illegible]

件 名	
	百石第4分団旧拠点施設解体工事

設計圖

図名	撤去ホース乾燥ポール（参考図）
----	-----------------

縮尺	Free
----	------

目 付

図 番	A - 14
--------	--------